

10.「絵本は子どもたちのために 親が読んであげる本です。」

2006年11月1日 社会福祉法人 江刺保育園

絵本は、子どもたちが自分で読むための本であるとか、子どもが字を覚えるための最初の本であるとか、お考えになっているお母さんや、お父さんがいると思います。私も初めはそう考えていましたが、これは大きな誤解でした。絵本は、子どもと、親の心をつなぐ大切な、また、とても役立つ道具なのです。お母さんの暖かく優しい声や、お父さんのたくましく頼りがいのある声を、絵本を通して子どもたちに伝えることで、子どもは絵本の中に、素直に入ることが出来ます。その絵本の中に自分自身を同化させ、親と一緒に安心していろいろな冒険や体験をするのです。それは喜び、悲しみ、苦しみ、などの模擬体験です。そして、子どもは絵本体験を親の声として記憶し、一生の思い出とするのです。様々な絵本の体験は、子どもたちの心を、**大きく、たくましく、優しく成長させていきます**。ですから、絵本は子どもたちのために、親が読んであげなければならない本なのです。

「お父さん、お母さんも一緒に絵本を心から楽しんでください。」



この絵本の読み聞かせの体験で、子どもたちは、言葉を獲得していきます。今の時代は言葉を粗末にしていると言われていいます。言葉遣いが良いとか悪いということも大きな問題ですが、特に思いやりのある言葉が消えてしまったからなのでしょう。いじめや虐待のために使われる暴力的な卑劣な言葉が蔓延しています。言葉はただ単なる情報ではないのです。**言葉は命**です。言葉によって私たちは、楽しみや喜びを感じ、全てを考え、全てを表現します。言葉によって人を勇気付け、生かすことが出来るのです。この「**言葉の力**」を子どもたちに、しっかりと正しく伝えなければなりません。そのために絵本はとても大切な言葉の宝箱なのです。

子どもの成長や子育てに関して困ったとき、相談できる人が近くにいないとき、私たちにお電話下さい。直接お出でいただいてもかまいません。お気軽にご利用下さい。

江刺保育園では、園庭の開放、夏はプールの開放、行事の参加、子育て相談、セミナー、等を行っています。参加ご希望の方は下記の江刺保育園にお問い合わせ下さい。ホームページを作りました。保育園の行事やお知らせを載せています。こまめに更新しております。どうぞご覧下さい。

＜お母さんたちが作ったお弁当＞ 秋の遠足のとき子どもたちが持ってきたお弁当です。



奥州市江刺区男石1丁目3-5 社会福祉法人 江刺保育園 子育て支援事業

電話 0197-35-1522 ファックス 0197-35-1741

Eメール aihoiku@pup.waiwai-net.ne.jp

ホームページ <http://pup.waiwai-net.ne.jp/~esahoiku/>